



# 六小だより

令和7年2月28日  
東久留米市立第六小学校  
学校評価号  
校長 内田 かほ里  
【TEL】042-471-5370

## 令和6年度 第六小学校 学校評価等の結果について

副校長 西村 勝

日頃より、保護者の皆様には、学校の教育活動にご理解とご協力をいただき誠にありがとうございます。

さて、昨年末に実施いたしました本校の教育に関するアンケート及び学校行事(体育学習発表会・音楽発表会)のアンケート結果がまとまりましたので、お知らせいたします。中面のアンケート結果とともにご覧ください。

### 成果について

#### 成果①

評価項目 「先生は、良いところや頑張ったところを認めてくれる。」

【児童アンケート3】

「家庭では、子供の個性やよさを見出し、伸ばそうと努めている。」

【保護者アンケート11】

○児童のよさや頑張りを認めながら、子供たちの自己肯定感を向上させることは学校全体の大きな目標でした。「先生は、良いところや頑張ったところを認めてくれる」という質問に対して95%の児童から肯定的な回答を得られたことは、今後の大きな励みになります。教員のこのような姿勢は、自然と児童にも伝わり、友達の良さに目が向くようになると考えます。これも、「家庭では、子供の個性や良さを見出し、伸ばそうと努めている」という質問に、90%を超える肯定的な回答を得ることのできるご家庭の支えがあったからであると感謝いたします。

#### 成果②

評価項目 「私は、相手の気持ちを考え、助け合って生活している。」

【児童アンケート14】

「学校は、集団における模範意識や思いやりの心などを育て、伸ばす教育を行っている。」

【保護者アンケート8】

○この評価項目について、約90%の肯定的な回答を頂きました。本校では、友達の気持ちを考えながら、規則正しい生活を送ることを継続的に指導してまいりました。学校を訪れるお客様には、きちんと挨拶ができること、落ち着いて明るく学校生活を送ることができていることをいつも褒めて頂いています。この雰囲気は、六小の貴重な財産として今後も大切に守っていきたいと考えます。

#### 成果③

評価項目 「問題を解決するために、自分で考え、自分から取り組むことができている。」

【児童アンケート5】

「自分の考えを発表する時には、自分の考えが伝わるように話の組み立てを工夫している。」

【児童アンケート6】

「友達との話し合い活動を通して、自分の考えを深めたり、新たな考えに気付くことができている。」

【児童アンケート8】

○この評価項目は、授業への取り組み方を問うもので、ただ何となく授業を受けているだけでは、肯定的な回答をすることが難しい項目です。しかし、80%を超える肯定的な回答を得ることができ、六小の子供たちの力の高さを感じました。本校が今年度、市の研究推進校として行った研究発表会の研究主題は「主体的・対話的で深い学びに向けた授業づくり」でした。自分で課題を見つけ、友達とかかわりながら、主体的に試行錯誤を繰り返して課題を解決していく学習は、児童の将来に必ず役立つと考えます。今後も、一つ一つの授業を大切にしながら、子供たちを成長させることのできる、よりよい授業づくりを行っていきます。

以上の3つを今年度の成果と考えます。しかし、80~90%を超える児童が肯定的な回答をしたということは、10~20%の児童が否定的な回答としたということになります。否定的な回答をした児童のことも念頭に置きながら、今後もさらなる改善のために、教職員一丸となって努力を続けて参ります。